

ちとせ未来ビジョンで描く将来像

～ たくさんのヒト・モノ・コトが集まり、楽しく過ごせるまちのリビング ～



誰でも
まちづくりに参画し、
絆を育んでいくエリア
【人づくり】

グリーンベルトや千歳川
などの資源を活用して、
楽しみと出会うエリア
【空間資源の活用】

交流とコミュニケーションの
拠点となり、
経済の活性化につなげるエリア
【日常的な賑わい】

歩いて楽しい
回遊したくなるエリア
【ウォーカブルな
まちなか】

情報を通じて
多様な人とまちが
つながるエリア
【効果的な情報発信】

エリアの具体的なイメージ	取組の方向性
【人づくり】 率先してまちのために活動していくシビックプライドを持った“人たち”は、まちづくりの大きな資源となります。「互酬性」や「信頼性」を大切にコミュニケーションにより、「絆」を育みながら、連携し持続的なまちづくりが行われるエリアをめざします。	●シビックプライドの醸成 (例) ロゴの作成やキャンペーンの実施 ●人材の発掘、確保、育成とその仕組みづくり (例) エリアマネジメント組織の設立
【空間資源の活用】 エリアには、グリーンベルトなどの「公共空間」や、「民間不動産」など、様々な空間資源があります。これらの空間資源を柔軟に活用し、地域と時代のニーズに対応したコンテンツを創出することで、市民や来訪者の滞在や滞留を促し、様々な「楽しみ」を呼び起こすエリアをめざします。	●日常使いを高めるコンテンツの充実 (例) グリーンベルトなどでのピクニックの推奨 ●連携した催し、取組の推進 (例) 既存イベントとのコラボ開催 ●遊休不動産の活用 (例) 空き地の活用や空き店舗のリノベーション
【日常的な賑わい】 現在このエリアには日常的な集客力やエリアの価値を高めるような機能が不足しています。これらの機能を備えた「人の活動が見える拠点」をつくることで民間投資が誘発され、エリアの価値が高まり、さらなる民間投資の循環をつくる、そのような日常的な賑わいがある経済の中心となるエリアをめざします。	●多機能化 (例) まちなか居住の推進、オフィスの誘致など ●観光客や若い世代が交流できる場づくり (例) エリア内での滞留拠点の整備 ●居心地の良い空間、日常的な活動の場づくり (例) 交流スペースの整備
【ウォーカブルなまちなか】 都市空間を、従来の“車中心”から“人中心”のウォーカブルな空間に転換していくことは、人々が安全・快適に滞在できる空間の確保にとどまらず、近隣商業の売上や地価の上昇など、多面的な効果を生み出します。快適な歩行空間の創出により、様々な面でエリアの活性化につながるウォーカブルなエリアをめざします。	●デザイン性高く統一感のある景観づくり (例) 1階部分のガラス張り化 ●歩行者ネットワークの充実 (例) 歩行者空間の拡大
【効果的な情報発信】 戦略的かつ効果的な情報発信は、エリアの魅力を周囲に広めてくれるファンの増加にもつながり、持続可能なまちづくりに不可欠です。ターゲットを明確に、質の高い情報を継続発信することで、多様な人とまちがつながるエリアをめざします。	●情報発信の工夫 (例) 媒体、対象、連携を意識した周知

【募集期間】 1月17日(火)から2月16日(木)まで

【公表場所】 市役所（本庁舎1階市政情報コーナー）、総合福祉センター、北ガス文化ホール、図書館、公民館、ミナクル、各コミセン、各支所、市のホームページ

【提出方法】 各公表場所または市ホームページで入手した意見書（市指定用紙）に意見を記載し、次のいずれかの方法でご提出ください。

① 素案公表場所にある意見箱に投函 / ② 郵送：〒066-8686 東雲町2丁目34 千歳市産業振興部 商業労働課 /

③ FAX：(22) 8851 / ④ メール：shogyorodo@city.chitose.lg.jp

素案、意見書は
こちらから



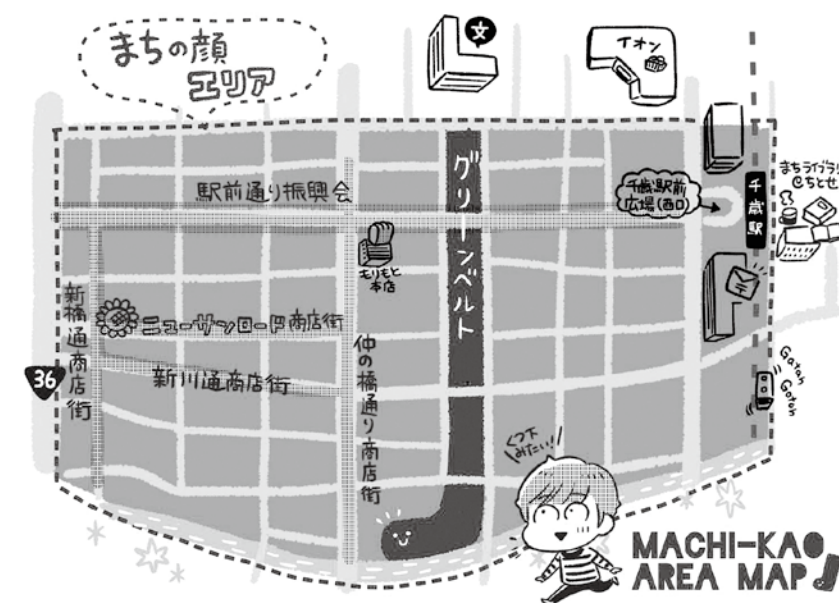
パブリックコメント意見募集 ちとせ未来ビジョン(素案)



複数の商店街やかつてエスプラザビルにあったちとせデパートなどで賑わった中心部は、多くの人が行き交う《まちの顔》と言われていましたが、この場所を訪れる人は年々少なくなり、日常的な活気は見えにくくなりました。このエリアには個性的な人が集まっているほか、さまざまな空間資源、新千歳空港からの良好なアクセスにより発展したホテルや飲食などの商圏があります。
この《まちの顔エリア》の将来像やその実現に向けた《ちとせ未来ビジョン》について市民の皆さんに意見を募集し、よりよいまちづくりをめざします。

【ちとせ未来ビジョンの概要】

ちとせ未来ビジョンは、《まちの顔エリア》のめざす将来像とその将来像に向かって取り組む方向性を描いたものです。具体的な事業まで示すものではありませんが、官民連携によりエリアのまちづくりを進めるための参考とするものです。ちとせ未来ビジョンの中では、エリアプラットフォームでの議論や実証実験などで浮かび上がった課題を踏まえ、エリアの将来像をイラストで描き、具体的なイメージを5つに整理した上で、短期・中期・長期の段階ごとの取組を掲げ、取組を進めるための仕組みや心がけをまとめています。



《ちとせ未来ビジョン》を検討しているちとせエリアプラットフォームメンバー

千歳商工会議所
一般社団法人 千歳青年会議所
千歳市商店街振興組合連合会
公立千歳科学技術大学（地域連携センター）
公立千歳科学技術大学（学生）
一般社団法人 千歳観光連盟
えき まち空間ワークショップ
おしごと部ちとせ

千歳高等学校3年3組国際教養科
北海道エアポート株式会社
まちライブラリー@ちとせ
チトセコ・CLEANGO
イロイロリビング
千歳音楽協会
千歳ソラのまちづくり委員会
千歳市